科目名	コーチング演習2							年度	2025
英語科目名	Coaching practice 2							学期	後期
学科・学年	スポーツ健康学科三年制 テニスコース　1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	演習
担当教員	鷲田、柳田	教員の実務経験		有	実務経験の職種		日本テニス協会公認S級エリートコーチ/日本スポーツ協会公認テニスコーチ４		

【科目の目的】

日本スポーツ協会公認テニスコーチ1・2/テニス教師の取得に向けて、基本的なフィードやヒッティングスキルに加え、安全管理・個々への技術的アドバイス・デモンストレーションを用いたメニューの説明など、指導の基礎について学びます。

【科目の概要】

テニススクールにおける普及クラスを対象とした基本的なフィード、ヒッティングに加え、レッスン管理・個々への技術的アドバイス・デモンストレーションを用いたメニューの説明など、指導の基礎についてオンコートの実技形式を中心に学びます。

【到達目標】

A　要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングができる
B　ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理ができる
C　指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスができる

【授業の注意点】

理由のない遅刻や欠席は認めません。授業回数の４分の３の出席がなければ単位取得できません。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル５ 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A	要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングができる		要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングがある程度できる		要求された場所にスピード、回転、高さをコントロールしたフィードとヒッティングがあまり上手くいかない
到達目標 B	ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理ができる		ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理がある程度できる		ラリー中の時間配分・運動量の確保・安全管理があまり上手くいかない
到達目標 C	指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスができる		指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスがある程度できる		指導者として適切なコミュニケーションをとりながらアドバイスがあまり上手くいかない

【教科書】

テニス指導教本1・2

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価します。積極的な授業参加度、授業態度によって評価します。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	コーチング演習2	年度	2025
英語表記	Coaching practice 2	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	グループディスカッション①	ストロークのワンポイントアドバンス	1	グループに分かれモデルを観察	瞬時に修正点を見つける	2	
			2	モデルの修正すべき点を見つける	修正すべき点の具現化・表現力		
			3	修正すべき点の矯正方法を考え、発表する	矯正方法を考え、メニューを立案する		
2	グループディスカッション②	ボレーのワンポイントアドバンス	1	グループに分かれモデルを観察	瞬時に修正点を見つける	2	
			2	モデルの修正すべき点を見つける	修正すべき点の具現化・表現力		
			3	修正すべき点の矯正方法を考え、発表する	矯正方法を考え、メニューを立案する		
3	グループディスカッション③	サーブ・レシーブのワンポイントアドバンス	1	グループに分かれモデルを観察	瞬時に修正点を見つける	2	
			2	モデルの修正すべき点を見つける	修正すべき点の具現化・表現力		
			3	修正すべき点の矯正方法を考え、発表する	矯正方法を考え、メニューを立案する		
4	ハンドトス(4点定点)しながらアドバイス	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1	声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2	正確にボールを出しながら打った後にアドバイスをおく	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3	打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックま	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
5	フィード(定点)しながらアドバイス	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1	声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2	正確にボールを出しながら打った後にアドバイスをおく	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3	打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックま	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
6	フィード(定点・前後)しながらアドバイス	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1	声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2	正確にボールを出しながら打った後にアドバイスをおく	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3	打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックま	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
7	ヒッティング(ストローク対ストローク)	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1	声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2	正確にボールを打ちながら打った後にアドバイスをおく	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3	打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックま	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
8	ヒッティング(ストローク対ボレー)	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1	声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2	正確にボールを打ちながら打った後にアドバイスをおく	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3	打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックま	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
9	ヒッティング(ボレー対ストローク)	二つ以上の事を同時に行いながらアドバイスができる	1	声を出す	球数と打球する人の名前を呼び続ける	2	
			2	正確にボールを打ちながら打った後にアドバイスをおく	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
			3	打つ前にアドバイスをおくり、簡単にフィードバックま	瞬時にフィードバックを簡潔に伝える		
10	ローテーションの管理①	安全管理・運動量の確保ができる	1	打ちやすいボールをおくる	スイングスピードとインパクトを調節してボールの勢いを無くして打つことができる	2	
			2	自分とラリーしている人以外のところにも気を配る	視野を広く、常に安全管理ができる		
			3	常に片手にボールを持ちラリーを途切れさせない	常にリズムよくボールを出し続けて運動量を確保し続けられる		
11	ローテーションの管理②	時間配分・安全管理・運動量の確保ができる	1	自分とラリーしている人以外のところにも気を配る	視野を広く、常に安全管理ができる	2	
			2	常に片手にボールを持ちラリーを途切れさせない	常にリズムよくボールを出し続けて運動量を確保し続けられる		
			3	打つことに夢中になりすぎない	視野を広く、常に安全管理と運動量の確保ができる		
12	ローテーションの管理③	時間配分・安全管理・運動量の確保・アドバイスができる	1	自分とラリーしている人以外のところにも気を配る	視野を広く、常に安全管理ができる	2	
			2	常に片手にボールを持ちラリーを途切れさせない	常にリズムよくボールを出し続けて運動量を確保し続けられる		
			3	打つことに夢中になりすぎない	瞬時に修正点を見つけわかりやすく簡潔に伝える		
13	説明とデモンストレーション	メニューの説明と正しいデモンストレーションを理解する	1	抑揚をつけて話す	ポイントとなるところは大きな声で相手を惹きこむ	2	
			2	説明の順番を理解する	説明の順序をテンプレート化して理解する		
			3	デモンストレーションを理解する	相手を惹きこむ見せ方を知る		
14	説明とデモンストレーション	メニューの説明と正しいデモンストレーションができる	1	抑揚をつけて話す	ポイントとなるところは大きな声で相手を惹きこむ	2	
			2	正しい順番で話す	順をおってわかりやすく簡潔に伝える		
			3	手本となるデモンストレーションを見せる	フォームはもちろん、ボールの結果も正確に		
15	説明とデモンストレーション	メニューの説明と正しいデモンストレーションができる	1	抑揚をつけて話す	ポイントとなるところは大きな声で相手を惹きこむ	2	
			2	正しい順番で話す	順をおってわかりやすく簡潔に伝える		
			3	手本となるデモンストレーションを見せる	フォームはもちろん、ボールの結果も正確に		

評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等